

空土ファーム生きもの調査 7月報告書

1. 調査の概要

1) 調査の目的

山梨県北杜市須玉町増富地域にある空土ファームの耕作放棄地を再耕作することにより、生物多様性がどのように変化するのか、周辺環境も含め調査を実施する。また、その調査結果をもとに、一般向け自然観察会の実施や、ハンドブック作成も視野に入れる。

2) 調査方法

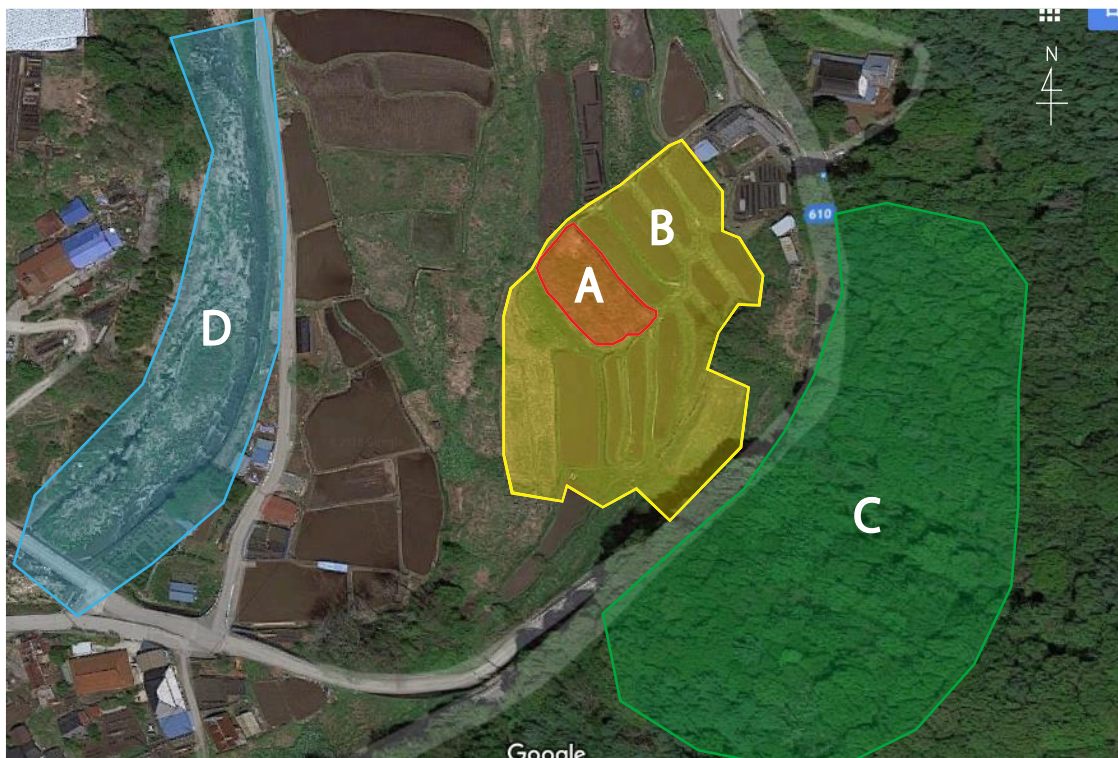
①調査レベル：主任研究員クラスによる現地調査

②調査地：山梨県北杜市須玉町増富地区「空土ファーム」とその周辺緑地（図-1）

なお、今回の調査では、4カ所の調査地点を設定し、確認された生きものはどの調査地点で確認されたかを記録した。

③調査対象：鳥類、チョウ・トンボ・バッタ類等の大型昆虫類を中心に、姿・声・行動等を確認すると共に写真撮影を行う。両生類、は虫類、ほ乳類等は適宜調査する。

④調査日程：2018年7月12日 10:00~16:00



A地点(2枚の新規耕作田)



B地点(棚田全体)



C地点(雑木林と水路)



D地点(塩川)

図-1 調査地全景および調査地点

2. 空土ファームで見られた生きものたち

1) 空土ファーム 生きものピックアップ

ヘラオモダカ (B 地点) : 湿地を好む植物

ヘラオモダカは、水田などの浅い水辺を好む植物で、全国で見られます。ただ、湿地の埋め立てや、除草剤の使用などが原因で、地域によっては絶滅危惧種に指定されており、山梨県レッドデータブックでも、「準絶滅危惧種」に指定されています。今回の調査では、休耕田の湿地で群生していました。何年か田んぼを休ませることで田んぼは再びいい土になるそうですが、地域の植物にとってもこの休耕田は貴重な生息場所になっているようです。



ヘラオモダカ



花

2) 各調査地で見られた生きものたち



ヒメアカネ (B 地点)

周囲に森林があり、かつ植物のたくさん生えた湿地という、限られた環境に生息します。



ミヤマアカネ (B 地点)

用水路や水田の周辺で見られるトンボです。休耕田周辺で見られました。



ハネナガフキバッタ (D 地点)

主に山地で見られるバッタの仲間で、塩川周辺の林縁で見られました。



ツマグロバッタ (D 地点)

丈の高い草が多く生える、湿った環境を好みます。塩川沿いの草地で見られました。



スジグロチャバネセセリ (D 地点)

里山環境の荒廃により、全国的に減少しています。塩川沿いの草地で見られました。

※環境省 RL 準絶滅危惧種



オオチャバネセセリ (D 地点)

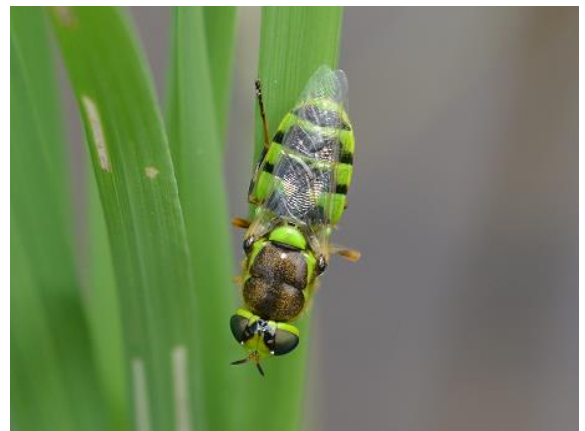
ササやススキなどのイネ科の植物に産卵します。草地の花で吸蜜する姿が見られました。

※山梨県 RDB 準絶滅危惧種



トラマルハナバチ (D 地点)

毛で覆われているため花粉が付きやすく、植物の花粉媒介になくてはならない昆虫です。



コガタノミズアブ (B 地点)

水田にすむアブの仲間で、農薬散布などで全国的に減少しています。



ウツボグサ (B 地点)

日当たりのよい、やや湿った場所に生える植物で、花にはハチなどが飛来します。



ミゾホオズキ (B 地点)

湿った場所を好む植物で、休耕田の中で数多く見られました。

3) 空土★生きものコラム ～チョウはどうやって食草を見つける?～

6月の調査に引き続き、今回の調査でも田んぼの脇に生えるセリに、キアゲハの幼虫が付いていました。このキアゲハはセリ科の植物（セリのほか、パセリやミツバ、アシタバなど）にしか卵を産まないのに、セリにキアゲハの幼虫がついているのは不思議な事ではないのですが、では、メスのチョウは数多くある植物の中から、どのようにしてセリを見分け、産卵しているのでしょうか？

まず、メスのチョウは、視覚を使ってある程度食草を特定します。その後、前脚の先端の方についている細かい毛で植物表面の「化合物」を感じ、幼虫が食べられる草かどうか見分けているそうです。簡単に言うと、前脚の先で葉の味見をしているんですね。

もし、蜜を吸わずに葉っぱのまわりを飛び回っているチョウがいたら、それは産卵をしようとしているチョウなのかもしれませんので、温かく見守ってあげてください。



キアゲハの幼虫（B地点）

3. 調査結果

表. 調査地内で見られた生物種(草本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	ヘラオモダカ	○		準絶滅危惧(NI)	
B	ミゾホオズキ	○			
B	シロツメクサ	○			
B	トキワハゼ	○			
B	ケキツネノボタン	○			
B	ヒメジョオン	○			
B	スズメノテッポウ	○			
B	ヒメクグ	Fr			
B	ハキダメギク	○			
B	ウツボグサ	○			
B	アレチギシギシ	○			
C	ハエドクソウ	○			
C	ミツバ	○			
C	ダイコンソウ	○			
D	ムシトリナデシコ	○			
D	ムラサキエノコロ	○			
D	クサノオウ	○			
D	ミツモトソウ	○			
D	コヒルガオ	○			
D	ツユクサ	○			
D	ヒメジョオン	○			
D	ハキダメギク	○			
D	ムラサキツメクサ	○			
D	ヤブカンゾウ	○			
D	コセンダングサ	○、Fr			
D	マメゲンバイナズナ	○			
D	オッタチカタバミ	○			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表. 調査地内で見られた生物種(木本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
C	ニガイチゴ	Fr			
D	コクサギ	Fr	未熟		
D	クリ	○			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表. 調査地内で見られた生物種(鳥類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	ヒヨドリ	c			
B	モズ	c			
B	ムクドリ	c			
C	シジュウカラ	c			
C	ヒヨドリ	c			
C	キビタキ	s			
C	アオバト	s			
D	キセキレイ	v			
D	スズメ	v			
D	ツバメ	v			
範囲外	キジ	c			

v:目視 c:地鳴き s:さえずり fl:飛翔 fd:採餌

表. 調査地内で見られた生物種(昆虫)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	セイヨウミツバチ				
B	モンシロチョウ				
B	ミヤマカラスアゲハ				
B	シオカラトンボ				
B	モートンイトトンボ			絶滅危惧1B種(EN)	準絶滅危惧(NT)
B	アキアカネ				
B	ベニシジミ				
B	ミヤマアカネ				
B	コアシナガバチ				
B	ハラビロトンボ				
B	ジنگサハムシ				
B	ツバメシジミ				
B	オツネントンボ				
B	キアゲハ	幼虫			
B	ホソミオツネントンボ				
B	パラルリツツハムシ				
B	ヒメアカネ				
B	コガタノミズアブ				
B	ウラギンヒョウモン				
B	ツマグロバッタ				
B	ニイニイゼミ				
B	モンキチョウ				
A	キベリヒラタガムシ				
A	ヒメゲンゴロウ				
A	コオイムシ			準絶滅危惧(NT)	準絶滅危惧(NT)
D	ベニシタヒトリ				
D	オオニジュウヤホシテントウ				
D	エグリトラカミキリ				
D	ピロードコガネ				
D	トラマルハナバチ				
D	モンキチョウ				
D	ブチヒゲカメムシ				
D	ホソハリカメムシ				
D	ヤマトシジミ				
D	オンブバッタ	幼虫			
D	ヒナバッタ				
D	ナナホシテントウ				
D	ホソミオツネントンボ				
D	オオカマキリ	幼虫			
D	マメコガネ				
D	オバボタル				
D	ジャノメチョウ				
D	スジグロシロチョウ				
D	キマダラセセリ				
D	オオチャバネセセリ			準絶滅危惧(NT)	
D	ヒメキマダラセセリ				
D	スジグロチャバネセセリ北海道・本州・九州亜種				準絶滅危惧(NT)
D	キボシアシナガバチ				
D	ハネナガフキバッタ				
D	サクラコガネ				
D	オオモンクロクモバチ				
D	ヒメクロオトシブミ				
D	ムジホソバ				

表. 調査地内で見られた生物種(哺乳類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
c	ニホンジカ	フン			

表. 調査地内で見られた生物種(爬虫類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
A	ニホンアマガエル				
B	ヤマアカガエル				
B	ニホンアマガエル				
C	ヤマアカガエル				